

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校
 令和2年度 飯野中学校 学校だより 第87号
 自律 挑戦 協働 創造
志保井が丘
 2021.2.26 発行 文責 校長 目黒 満
 教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

卒業まであと10日となりました。

早いもので今週で2月が終わります。来週からは3月。3年生にとって中学校生活は、卒業式を入れても残すところ10日間となりました。その間には、3日(水)から県立高校の前期選抜入試が実施されます。

本校3年生38名のうち、今回の県立前期選抜入試を受験するのは29名となっています。

卒業が近づいた昨日25日には、PTAから卒業生への記念品授与式と同窓会入会式が行われました。

記念品授与式では、本校PTAを代表し、齋藤会長から卒業証書を入れる証書ホルダーと印鑑を記念品としていただきました。



同窓会入会式では、林同窓会長から、今年度1年間、コロナ禍での学校生活へのねぎらいと激励の言葉をいただきました。また、将来、苦しい時、つらい時には飯野中で過ごしたこと、一緒に過ごした友人のことを思い浮かべることで頑張る力が湧いてくるというはむけの言葉をいただきました。

3学年保護者代表の来賓としておいでいただいた阿曾3学年委員長からの祝辞では、同窓生の先輩の中でも、全国や世界を舞台に活躍している先輩を紹介し

ていただきました。サントリーHD社長の齋藤さんや、カルビー食品社長兼COOの伊藤さんなど、著名な先輩がいること、中学生一人一人には、どんな未来でも切り開いていく可能性を持っていることをお話いただきました。

3年生は、代表生徒だけでなく全員が引き締まった態度と表情で2つの式に臨み、自身がもうすぐ卒業するということを実感しているようでした。



校長からは、卒業の「節目」ということで、こんなお話をしました。

皆さんは、「節目(ふしめ)」という言葉を知っていますか？ 節目とは「区切りとなる大切なところ」という意味があります。節目の「節(ふし)」とは、竹にあるあの節のことです。

竹は、その節と節の間がぐーんと伸びて大きく成長します。また、竹は節があることによって、折れにくい強さと同時に、割れにくいしなやかさの両方を持っていると言われています。

中学校卒業は、皆さんにとって人生における大きな節目の一つです。いま一つの節目に当たって、自分のこれまでを振り返り、どれだけ自身が成長することができたか、そして自分の将来を見つめ、これからどう成長していけるかをしっかりと考える時としてください。

そして、これから先、未来の大きな節目では、今日いただいた印鑑を使う場面があるはず。それぞれの節目を大切に生活していきましょう。



義務教育9年間を終える大きな節目である卒業。一人一人が決めた進路へ向かって力強くグングン伸びていけるようPTAも同窓会も保護者も、そして後輩も、みんなが応援しています。自信を持って前期選抜へ、そして自分の将来への一歩を力強く、しなやかに踏み出してください。